

❖団体名	特定非営利活動法人 国際協力 NGO センター
❖ASC2021 実施日	2021 年 12 月 3 日

❖セルフチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	18	11	7
事業実施基準	11	10	1
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
合計	44	36	8

❖アカウントビリティへの考え方

JANIC では、日本の NGO を正会員とするネットワーク NGO として、NGO のアカウントビリティの向上のための取り組みを長年にわたり取り組んでいる。2008 年からアカウントビリティ・セルフ・チェックの仕組みを開発し、推進している。団体が健全な組織を維持し、信頼を得ていくためには、ミッションの達成に向けた活動に加え、それを実現するための組織体制や活動時の指針やルールをチェックし改善することが必要。アカウントビリティ・セルフ・チェックの指針やチェック項目を日常の経営や活動実施時に意識することで、その期待に応える取り組みができると考え、JANIC 自身もセルフチェックを実施することで、アカウントビリティ向上にも努めていく。

❖アカウントビリティ向上の取り組み紹介

- 1) 中長期計画の策定と評価
- 2) 各種規程の整備
- 3) 自己財源の安定化
- 4) 経理体制の強化

❖上記取り組みの実施状況

1) 中長期計画の策定と評価

現在の中長期計画は事業中心の内容で、組織開発・組織運営についてはあまり戦略が描かれていないため、来年度からの中長期計画については組織運営についても戦略を書く予定。また、各事業の評価については実施しているものの不十分なので、計画段階から、特に成果の設定について改善し、振り返りをしていく。

2) 各種規程の整備

法律や社会に適応した就業規則の改正（ハラスメント、在宅勤務ルールの整備等）を現在実施中。また今後は多様な性に配慮したルール、PSEAH への対応を実施していきたい。また今年度コンプライアンス規程を新たに作成したため、コンプライアンス研修や委員会の開催等を行う予定。

3) 自己財源の安定化

JANIC は会費・寄付の割合が毎年約 20%と少なく、一朝一夕の改善は難しいが、多様な財源の確保と安定的な経営を目指していきたい。具体的には①より多くの団体に入会いただくよう会員規程の改訂を予定しており、会

員を増やす②提案営業による事業収入を増やす③海外財団等新規パートナーの開拓のため努力をしていく。

4) 経理体制の強化と整備

顧問税理士、会計担当監事による助言を受けつつ、銀行口座の整理・統合、受託している外部団体の会計業務の整理、職員の研修受講等を進めている。来年度は電子帳簿保存法、インボイスへの対応・準備を開始し、さらなる体制と管理業務の整備を予定。